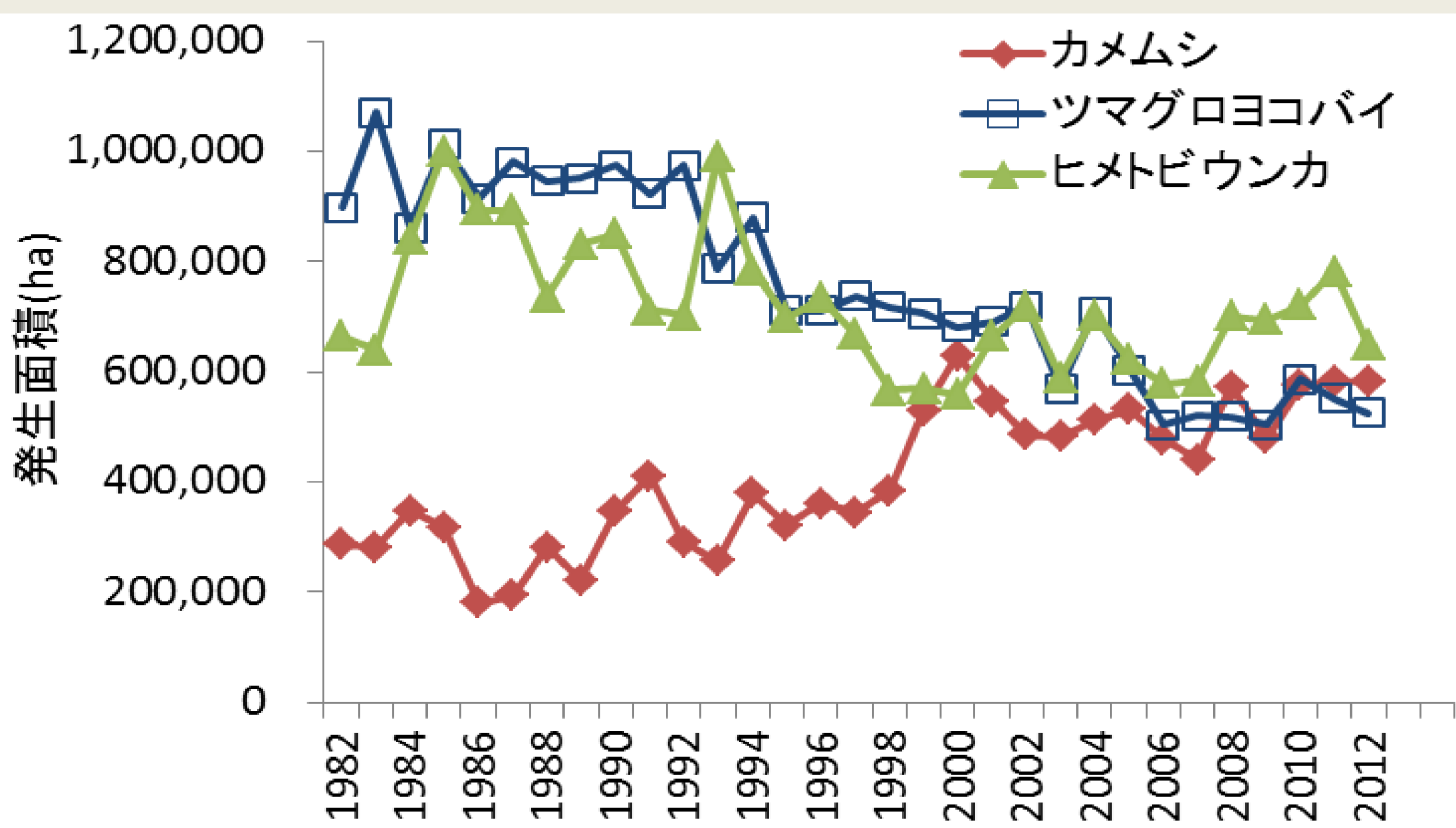


# 斑点米カメムシによる被害を軽減できる水稻育種素材の開発

愛知県農業総合試験場、  
愛知県農業総合試験場山間農業研究所

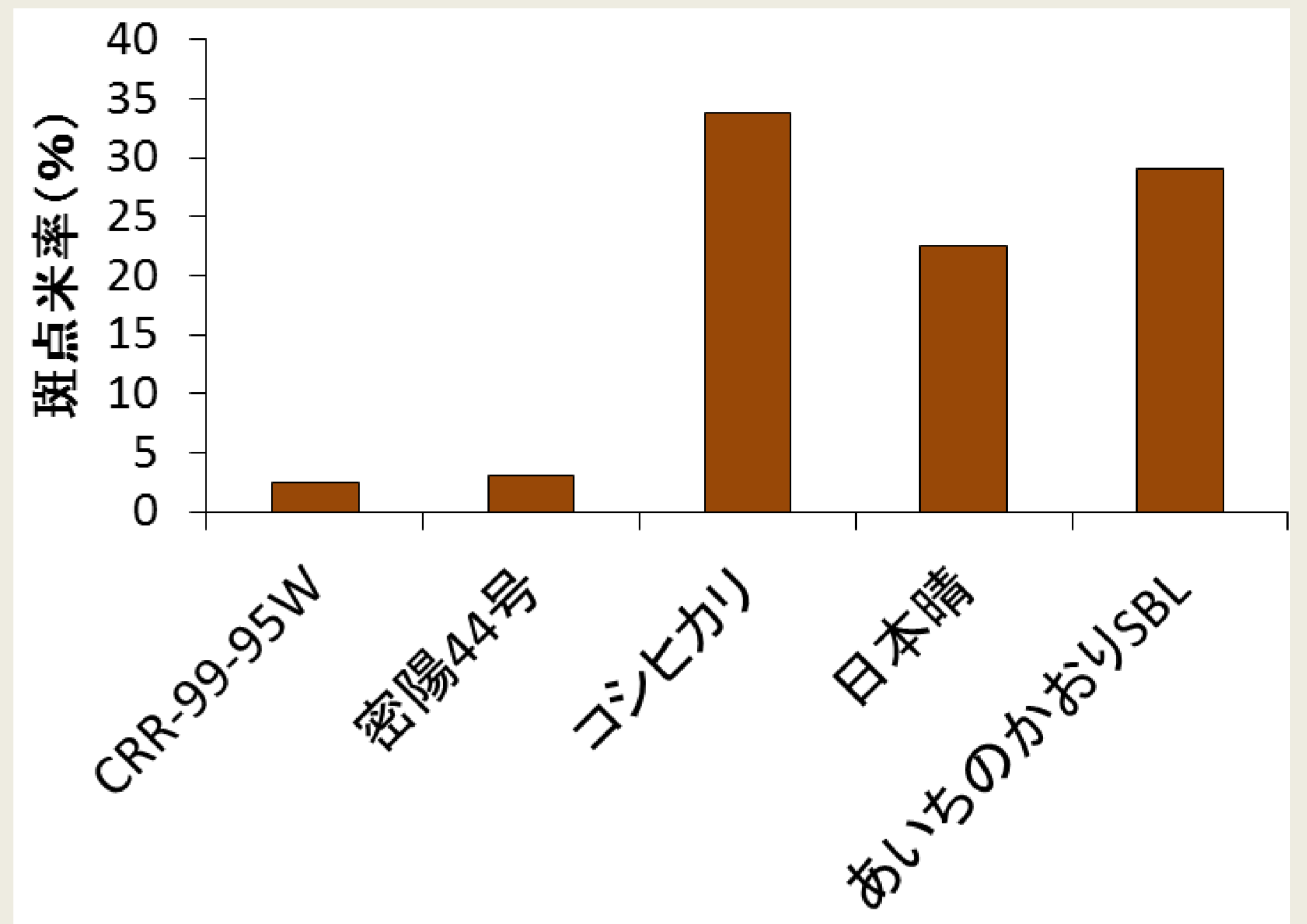
全国の水稲におけるカメムシ発生面積は増加しており、斑点米による品質低下が大きな問題となっています。愛知県農総試では、斑点米カメムシ抵抗性を持つ品種を見出しており、抵抗性を識別するDNAマーカーを開発し選抜の効率化を図るとともに、斑点米カメムシ抵抗性を持つ育種素材を開発します。

## 1 カメムシの発生面積は増加！！



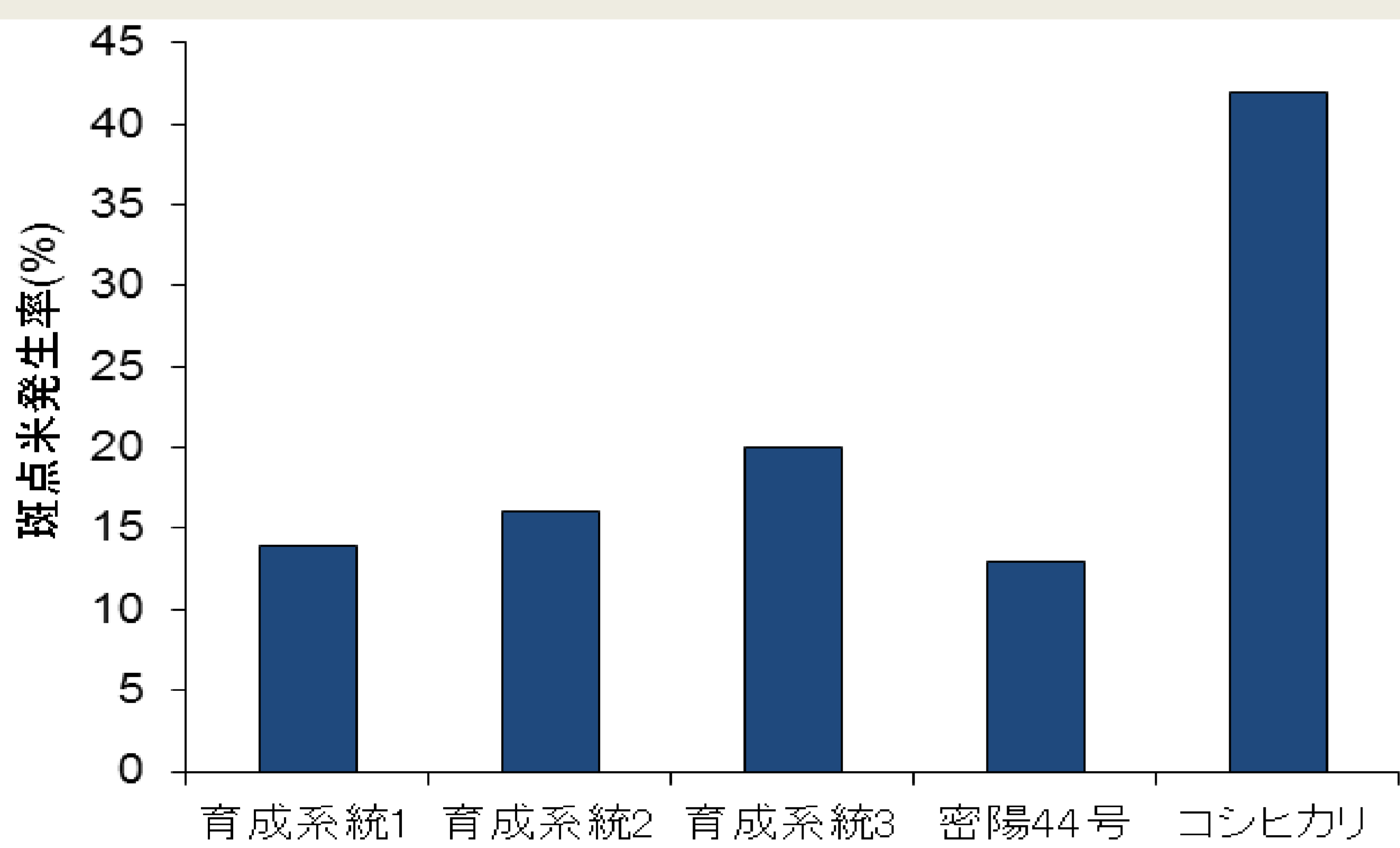
主要害虫であるヒメトビウンカ、ツマグロヨコバイの発生面積は減少傾向にありますが、カメムシは増加しており、特に2000年以降の発生面積は多くなっています。

## 2 カメムシに強い品種



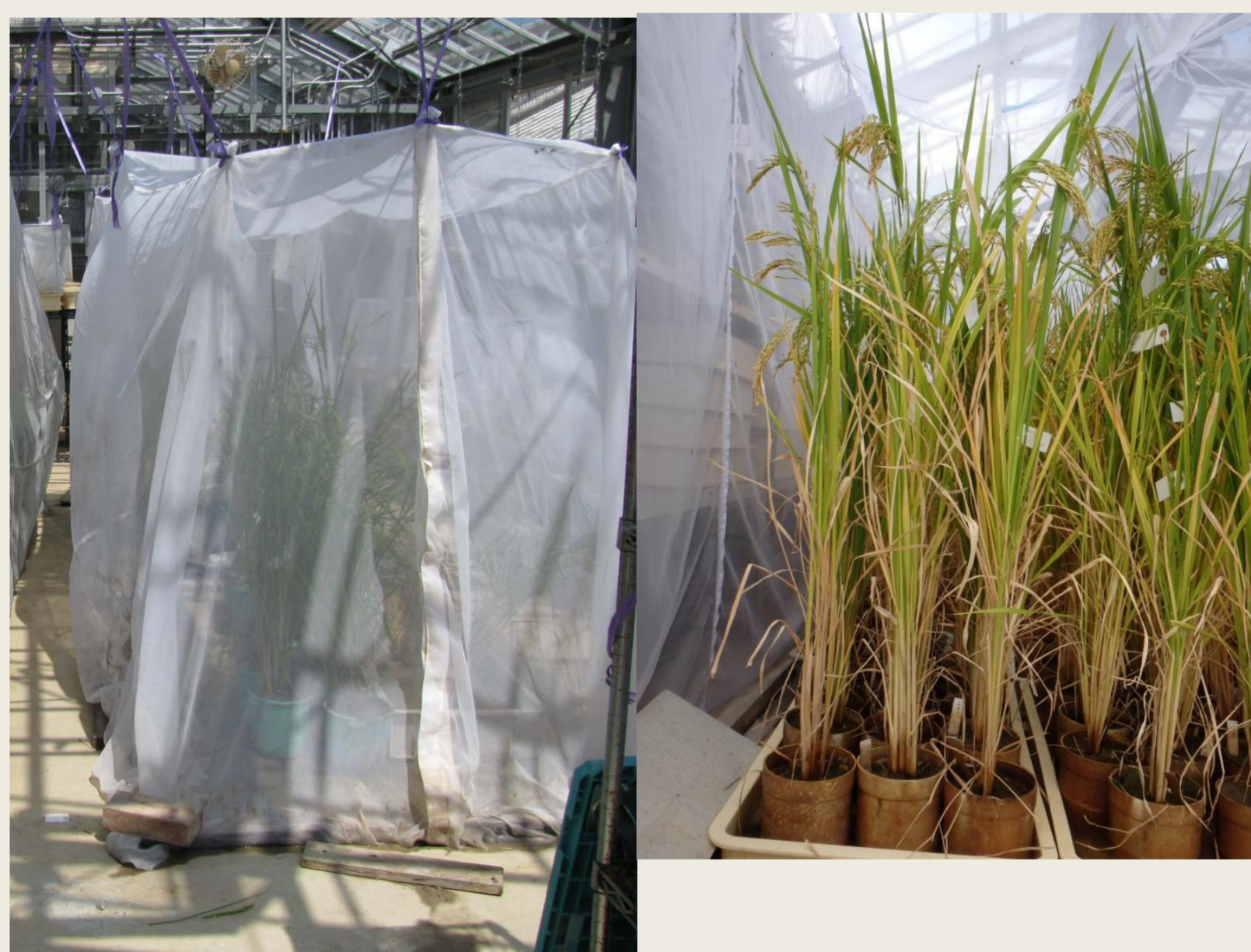
「CRR-99-95W」、「密陽44号」は、一般に栽培されている品種に比べて、斑点米の発生が少ない特徴を持っています。

## 3 斑点米被害を抑える育種素材の開発



育成系統の斑点米発生率

- 「密陽44号」を母本とした系統では、品質、食味の優れる育種素材を育成しました。
- カメムシ抵抗性遺伝子を識別するDNAマーカーの開発を進めています。



蚊帳状のアミのなかでカメムシを増殖し、一定期間イネを入れて、カメムシ抵抗性検定を行います。

### ● 普及・社会実装への道筋

斑点米カメムシ抵抗性を持つ育種素材の開発及び効率的な選抜方法の確立により、斑点米の発生が少ない**世界初の実用品種**の育成が期待されます。